

# セキュリティ対策

-27-

情報セキュリティ対策を社内浸透させるためには、従業員一人一人の情報セキュリティ（ルール）を守る風土を社内に醸成することができるといえる。

そして、企業における情報セキュリティ教育では、「情報セキュリティポリシーを周知徹底する」「情報セキュリティの脅威と対策を知る」という2点に取り組むことが有効である。

## 「教育」で意識向上

企業における情報セキュリティ対策の第一歩は情報セキュリティポリシーを作成することである。しかし、情報セキュリティポリシーを策定しただけでは、なぜ情報セキュリティポリシーを作成する必要があるのかが分らないとポリシーを守り続けることは困難

### 定期的な フォローアップを

また、自社だけでなく業務委託先の教育にも留意する必要がある。定期的な実施

### ①教育の対象

情報セキュリティポリシーは、業務に携わる全ての従業員に周知徹底する必要がある。

### ②教育のタイミング

教育のタイミングとしては次に挙げるポイントを考慮する。

### ③教育の方法

教育の方法としては次に挙げる方法がある。企業の状況に応じた適切な方法を採用する。

### ④教育の記録とフォローアップ

教育の記録とフォローアップ  
情報セキュリティポリシーを守るには、継続した取り組みが重要である。そのためには、具体的な進め方について、「誰に」「いつ」「どこ」で実施するかを記録に残し、全従業員漏れなく教育を行うようにする。また、セキュリティ環境の変化に伴い、教育した内容が陳腐化してしまう可能性があるため、定期的なフォローアップ教育が必要である。

### ⑤教育の推進

教育の推進  
（独立行政法人情報処理推進機構・江島将和）

- ・ 定期的な実施
- ・ 教育のタイミングとして、次に挙げるポイントを考慮する。
- ・ 教育の対象
  - ・ ミニクが考えられる。
  - ・ 上手く組み合わせる教育を実施する。
- ・ 教育の方法
  - ・ 集合講習
  - ・ eラーニング
  - ・ 課題図書を読ませ、テストにより理解度を確かめる
- ・ 教育の記録とフォローアップ
  - ・ 定期的な実施
  - ・ 定期的なフォローアップ教育が必要である。
- ・ 教育の推進
  - ・ 自己点検チェックシートなどを配布して記入させ、ポリシーの順に入させ、ポリシーの順に入させ、理解度や順守状況を確認する
  - ・ 定期的な実施
  - ・ 定期的なフォローアップ教育が必要である。
  - ・ 教育の記録とフォローアップ
    - ・ 定期的な実施
    - ・ 定期的なフォローアップ教育が必要である。